

1 モエン標準施工法

1-4 モエンの耐風圧性能

＜モエンの耐風圧設計＞

モエンの風圧力に対する安全性については、平成12年建設省告示第1458号および第1454号※に基づいて算定した風圧力を基準としています。

※ 告示第1458号(屋根ふき材及び屋外に面する帳壁の風圧に対する構造耐力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件)

告示第1454号(Eの数値を算出する方法並びにV0及び風力係数の数値を定める件)

風圧力(正圧)と異なり風圧力(負圧)は、施工部位の高さではなく建物高さにより下層から上層まで一定の風圧力となるため、同一建物内では施工部位の高さで施工仕様を変えることはできません。

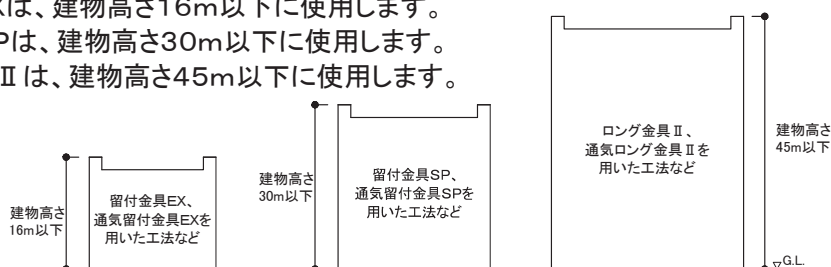
また、告示第1458号の適用除外部分(①建物高さ13m以下の建物 ②高さ13m以下の部分で、高さ13mを超える部分の構造耐力上の影響を受けない部分 ③1階部分又はこれに類する階の部分)についても、非構造部材である外装材の脱落等による危険度を考慮して、告示第1458号の適用が望ましいと考えています。

なお、建物形状や環境等による想定風圧力に関しては建築設計者の判断となりますので、設計者の指示により下記のモエン許容耐風圧性能での運用をしてください。

＜モエンの許容耐風圧性能＞

モエンの許容風圧力は、建物高さ16m以下、16m超えで基準が異なります。金具施工はモエン16mm厚品以上が対象です。

- 留付金具EX・通気留付金具EXは、建物高さ16m以下に使用します。
- 留付金具SP・通気留付金具SPは、建物高さ30m以下に使用します。
- ロング金具Ⅱ・通気ロング金具Ⅱは、建物高さ45m以下に使用します。



■高さが16m以下の場合(当社試験結果より許容風圧力を設定)

①木造

(負圧、単位:Pa)

留付方法 下地間隔 (mm)	釘打ち※1	留付金具EX (JE555、825)	留付金具SP※2 (JE1570)	通気留付金具SP※2 (JE1870)	ロング金具Ⅱ※2 (JEL570、570S)	通気ロング金具Ⅱ※2 (JEL870、870S)
@500	4125	1406	2310	2935	3060	4185
@455			2595※3	3350※3	3220※3	4500※3

※1 胴縁はツガ18mm厚を使用。 ※2 金具は専用ビスで留め付け、エクセラード16mm厚品以上が対象。

※3 下地ピッチ@500mm、@303mmの試験結果より計算で求めた値。

●試験体仕様:試験体サイズ 2470×2470mm、金具留付材 専用ビス

②鉄骨造

(負圧、単位:Pa)

留付方法 下地間隔 (mm)	通気留付金具EX (JE825)	通気留付金具SP※2 (JE1870)	通気ロング金具Ⅱ※2 (JEL870、870S)	一般金具※1 + ビス併用
@606	1406	2810	5875	3521

※1 日本窯業外装材協会(NYG)試験結果による。 ※2 金具は専用ビスで留め付け、エクセラード16mm厚品以上が対象。

